

推進会議の構成団体間の情報共有を目的として発行している「あったか子育てニュースレター」。「子育て環境日本一」に向けて様々な主体が取り組まれておられますが、今回は子育て団体の取組について知っていただくとともに多くの人に利用いただけるよう、活動取材してきました。

発行：令和5年12月
子育て環境日本一丹後推進会議
(事務局：丹後広域振興局)



地域の子育て団体活動現場訪問 ねぎぼうず文庫

京丹後市内を中心に、絵本を通じた親子の居場所づくりを行われている「ねぎぼうず文庫」代表の奥田清子さんにお話をお伺いしました。

■絵本を通じて、子育て支援を行いたい

一 どのような活動をされているか教えてください。

大宮町善王寺で、親子で自由に気軽に絵本に親しんでもらえるように私設文庫の運営を行っています。また、より親子で楽しんでもらえるように、子ども向けの絵本の読み聞かせはもちろん、絵本を題材にした参加型絵本講座を開催し、自分の今の気持ちや子育て中の悩みを共有し合うような親同士のつながりづくりも行っています。

一 このような取組をはじめられたきっかけなどはあるのですか？

絵本を通じて、子育ての楽しさや豊かさを伝えたいという思いが一番のきっかけです。自分自身が子育てを行っている際に、上手く子育てに向き合えず、子育てがしんどくなった時があったのですが、そんな時に自分自身を救ってくれたのが絵本の存在でした。子育てには辛いことやしんどくなることもたくさんありますが、そんな時に絵本は子育ての心強い味方だという事を一人でも多くの人に伝えることができればと思っています。

一 活動をしていく中で大切にしていることなどはありますか？

子どもがのびのびと自由に過ごせる場所になるようにすることです。例えば、読み聞かせ中に立ち上がったたり、別の遊びを始めたりしても、止めたりはしません。その場にいる親子が楽しい時間を過ごせるような活動を心がけています。

一 ありがとうございます！最後に参加方法について教えてください。

公式ラインにお友達登録をしていただくと、オープン日のお知らせが配信されますので、初回見学参加はそちらからご予約下さい。その際に活動場所と地図などを送らせていただきますので、是非気軽にお問合せ下さい。（詳細は下記QRコードより）



←LINE登録
はこちら

取材メモ

参加者の方に話を伺うと「自分自身も絵本が好きなので参加をしています。子育て中是不安もありますが、ここに来て、子育てを経験されている先輩の話を聞いたり、お話をすることで心が軽くなります。」と話されていました。

また、現在ねぎぼうず文庫には、1,500冊もの絵本があるそうで、その中から数冊奥田さんが選んだ絵本の読み聞かせをしておられます。最新の絵本から、昔からある絵本までたくさん揃えられており、絵本が好きだった私としても、とても懐かしい気持ちになりました。